９月定例会

○商工費
商工会補助事業
９０２万円
観光パンフレット作成費
１１７万円
ときがわまつり補助金
２３７万円

○土木費
道路補修工事
７６６万円
舗装修繕工事
２６３９万円
道路改良工事
３５７５万円

○消防費
防災無線管理事業
１６２１万円

○教育費
特色ある学校づくり補助金「５校」
１００万円
都幾川公民館管理運営事業
７４７万円
玉川公民館管理運営事業
８８６万円
文化センターピアノオーバーホール業務委託
３６８万円
体育センター大規模改修事業
１億９０６４万円

大規模改修工事が完了した体育センター

歳出の主な質疑

問　デマンドバス予約受け付け業務委託の予算との違いは。
答　10月から3月分までは今年度の補助金の中で予算を含めたため半分になる。
問　おためし住宅やまんなかイベント業務委託とは。
答　町外の方を対象にしたイベントを5回開催した。
問　起業支援48万円に対し、相談は無料か有料か。
答　起業するにあたり、経費もかかるということを認識していただくため、有料で受けている。
問　活き生き活動センターの運営経費が６１９万円かかっている。利用度を上げる努力は。

歳出の性質別構成

（単位：千円、％）

区　分		決算額	前年額	構成比	説　明
義務的経費		2,263,488	2,308,690	41.1	
	人件費	955,109	986,386	17.3	職員の給料や議員報酬などに使うお金
	扶助費	658,657	677,242	12.0	医療費・児童手当などに使うお金
	公債費	649,722	645,062	11.8	町の借金を返済するために使うお金
投資的経費		698,979	839,613	12.7	
	普通建設事業費	696,333	824,282	12.6	道路整備・建物等の建設に使うお金
	災害復旧事業費	2,646	15,331	0.1	災害によって被災した施設を原形に復旧するために使うお金
その他の経費		2,546,570	2,356,472	46.2	
	物件費	826,223	915,523	15.0	賃金・業務委託料・消耗品・備品購入に使うお金
	維持補修費	50,331	32,848	0.9	公共用施設等の維持に使うお金
	補助費等	799,531	778,520	14.5	補助金・負担金として支出するお金
	積立金	344,639	147,749	6.3	町の基金に積み立てるお金
	投資及び出資金・貸付金	35,120	0	0.6	公共事業などに対する財政援助のお金。行政施策上の目的のために地域の住民、企業に貸し付けるためのお金
	繰出金	490,726	481,832	8.9	特別会計に繰出金として支出するお金
合　計		5,509,037	5,504,775	100.00	

※上記の表は、決算統計用に作成されたもので、町決算書歳出額と差額が生じています。

９月定例会

答　催し等も案内しながら普及に努めていく。

問　財政調整基金・公共施設等整備基金が当初予算額より大幅に増額しているが当初の目的と合っているのか。

答　財政調整基金は将来の財源を確保するため、公共施設整備基金は、将来の公共施設の整備に充てるため。

問　企業立地の支払いがあるが、誘致した企業「ベジテック」はいつ頃開業となるのか。

答　正式な時期は後日報告がある予定。

問　婚活事業補助金による成果等はあるのか。

観光パンフレット

答　52人の参加があったが、結果については把握していない。

問　観光パンフレット作成の支出が多いが、配布、観光客入り込み計画・目標については。

答　PRに努めて、ときがわ町を知っていただき、町にお越しいただくことが一番の目標である。

問　指定管理者のうちで赤字となっているのは何団体あるのか。

答　単年度収支で、黒字４団体、赤字５団体。

問　ときがわ産材活用推進事業はどのような事業か。

答　ウッドスタート、林業機械の管理、木工体験工房の運営など、木材利用の推進を行っている。

問　ときがわ町立小・中学校の問題点について伺う。

答　小中学校の統合の問題だと思うが、行政とすると準備はしておく。統合やむなしとの状況に至れば、数年間程度の期間で検討できるのではないか。統合という意見が多くなれば、その時点で対応していきたい。

問　明覚小、萩ヶ丘小及び都幾川中のタクシー借上料について、運行形態が10月から変わるが内容について。

答　乗合タクシーは定時運行ではないので、予約を入れて、時間に合わせて送っていく方式となる。

問　予備費２０００万円の充用する範囲については。

答　充用できないのは、職員の給与及び手当で、条例に載っていないものについては充用できない。また、予算のときに否決された場合の予算については予備費を充てることはできない。

木工体験工房「夏休み特別木工体験教室」

平成30年度 特別会計歳入歳出決算認定

特別会計の歳入歳出状況

特別会計	歳　入	歳　出	差引額
国民健康保険	16億1105万円	15億6389万円	4716万円
後期高齢者医療	1億3111万円	1億2908万円	202万円
介護保険	11億2490万円	11億634万円	1855万円
浄化槽設置管理事業	1億3733万円	1億3462万円	271万円
関口茂八奨学事業	2552万円	2552万円	0円

※表示単位未満を切り捨てているため、差引額が一部一致しません。

		収　入	支　出
水道事業	収益的収支	3億3080万円	3億1527万円
	資本的収支	8188万円	1億8501万円

収益的収支…サービスの対価としての水道料金収入とサービスの提供に要する支出からなる収支

資本的収支…企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良等に関する支出とその財源となる収入からなる収支